

# アネスト岩田株式会社 2026年3月期3Q 決算補足説明資料

2026年2月10日  
東証プライム市場 機械  
証券コード6381

## 2026年3月期3Qの実績

- 売上高は、39,488百万円(前年同期比－1.3%)
  - －エアエナジー事業は、減収減益。中国圧縮機事業は、持ち直しの動きは見られるものの回復に遅れ
  - －コーティング事業は、減収減益。スプレーガン販売は回復傾向も、塗装機器全体の売上は減少
  - －その他事業は、増収赤字。ECサイト販売が拡大も、新規事業の先行投資により赤字
- 営業利益は、3,796百万円(前年同期比－18.1%)
  - －売上減少による売上総利益の減少や販売管理費の増加により減益
- 経常利益及び純利益は、為替差益及び持分法投資利益の増加も減益

## 2026年3月期 通期業績見通し

- 前回見通し(2025年5月9日発表)を据え置き。販売促進策の実施などにより挽回を図る
- 配当予想も修正なし

売上の減少や販管費の増加などにより減益

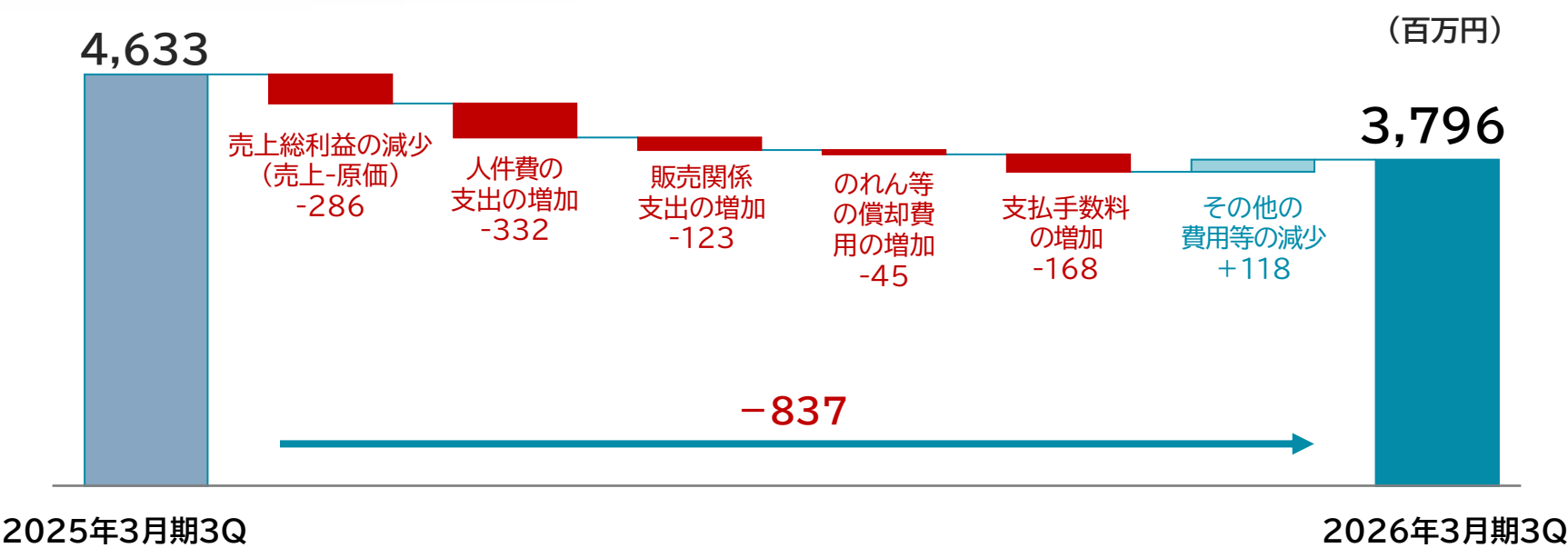
- 売上高における為替の影響は－510百万円
- 外貨建て債権などにおける為替差益は398百万円(前年同期比+245百万円)

		2025年3月期3Q		2026年3月期3Q		前年同期比			2026年3月期 業績予想	
		実績	利益率	実績	利益率	増減額 (百万円)	増減率 (%)	利益率 変化(pt)	予想値 (百万円)	進捗率 (%)
売上高		39,988	—	39,488	—	-500	-1.3	—	58,000	68.1
営業利益		4,633	11.6	3,796	9.6	-837	-18.1	-2.0	5,550	68.4
経常利益		5,718	14.3	5,190	13.1	-528	-9.2	-1.2	6,710	77.3
親会社株主 帰属純利益		3,576	8.9	3,376	8.6	-199	-5.6	-0.4	4,150	81.3
平均 為替 レート	円／ 米ドル	151.29円		148.23円		3.06円 円高			151.50円	
	円／ ユーロ	164.40円		165.54円		1.14円 円安			164.00円	
	円／ 人民元	20.97円		20.51円		0.46円 円高			21.00円	

【為替の感応度について】売上高、営業利益ベースによる傾向値(下記にて通貨割合は反映されておられません)

- ・売上高 :1円の円安にて、米ドル50百万円/年、ユーロ50百万円/年、人民元600百万円/年、それぞれ増加
- ・営業利益:1円の円安にて、米ドル10百万円/年、ユーロ10百万円/年、人民元30百万円/年、それぞれ増加

売上の落ち込みに伴う売上総利益の減少や販売管理費の増加により減益



売上原価率

- 2026年3月期3Q:53.3% (前年同期比+0.1pt)
- 売上原価(21,050百万円: 同 -213百万円)における為替の影響は、-342百万円
- ✓ グループ内在庫の減少や期末レートの円高進行に伴う在庫評価額の圧縮が売上原価率の上昇を抑制

販売管理費率

- 2026年3月期3Q:37.1% (前年同期比+1.9pt)
- 販売管理費(14,641百万円: 同 +550百万円)における為替の影響は、-123百万円
- ✓ 人件費は想定を下回って推移も、日本では前年同期比で増加。海外人件費の上昇は落ち着きを見せる
- ✓ M&A検討や中期経営計画における施策の推進、100周年事業に関する支払手数料が主に日本で増加

日本及び欧州の販売が売上高全体を下支えも減収。海外売上比率は66.9%から65.3%に低下

- 日本: オイルフリースクロール圧縮機や塗装設備の売上増加により増収。調達コスト増加に対応し、8月に価格改定を実施(一部製品を除く)
- 欧州: OEM向けオイルフリースクロール圧縮機販売が売上をけん引。塗装機器売上は伸長し2Q時に比べて前年同期比での減少幅が縮小
- 米州: スプレーガン及びエアブラシの販売低迷が継続。アメリカの通商政策対応として価格改定を実施
- 中国: 低迷が続く圧縮機販売は、持ち直しの動きが見られるものの回復は遅れており売上は減少。コーティング事業は堅調に推移
- その他: インドにおいて特定市場向けを中心とした小形圧縮機の販売が伸び悩み、売上を押し下げ

	2025年3月期3Q		2026年3月期3Q		前年同期比	
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
日本	13,244	33.1	13,704	34.7	+460	+3.5
欧州	6,714	16.8	6,961	17.6	+247	+3.7
米州	5,472	13.7	4,933	12.5	-538	-9.8
中国	8,617	21.6	8,117	20.6	-500	-5.8
その他	5,939	14.9	5,771	14.6	-168	-2.8
合計	39,988	—	39,488	—	-500	-1.3

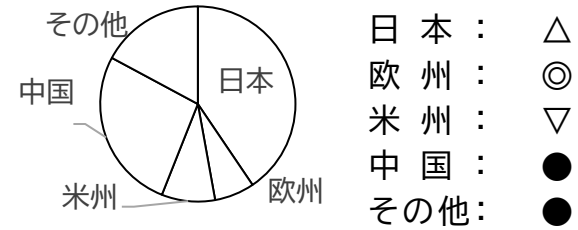
(注)1. 日本とインドの期末は3月、他地域は12月であり、他地域の連結決算は3か月の期ズレが発生  
2. セグメント区分: その他=中国を除くアジア、オーストラリア、南アフリカ

欧州は好調に推移したものの、中国の中形圧縮機やインドの小形圧縮機の販売低迷をカバーできず減収

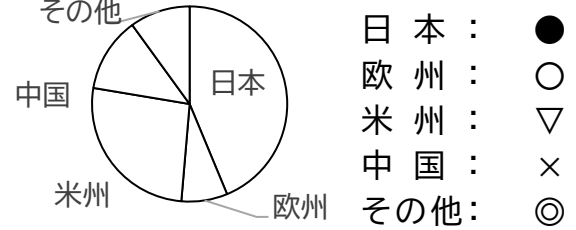
	区分	2025年 3月期3Q	2026年 3月期3Q	前年同期比		概況(矢印は前年同期比)	(単位:百万円)
				増減額	増減率 (%)		
売上高	圧縮機	22,809	22,313	-496	-2.2	(日 本) ↑ 小形圧縮機は業界の出荷台数減少も、オイルフリースクロール圧縮機の出荷増 (欧 州) ↑ OEM向けオイルフリー圧縮機の販売拡大が売上をけん引 (米 州) ↓ アメリカの車両搭載・一般工業市場向けオイルフリー圧縮機の売上減少 (中 国) ↓ 中国国内販売の低迷継続も、欧州及びインド向けをはじめとする輸出は回復の兆し (その他) ↑ インドにて供給・販売体制の構築が進んだことで中形圧縮機の売上増加 ↓ インドで鉄道及びEVバス市場の競争激化などにより、小形圧縮機の売上減少	
	真空機器	2,171	1838	-332	-15.3	(中 国) ↓ 新規顧客開拓を継続も前年同期に見られたリチウムイオン電池製造関連装置向け真空ポンプの売上減少分をカバーできず	
	合計	24,981	24,152	-828	-3.3		
営業利益	エアエナジー	2,516	2,289	-226	-9.0	営業利益率:9.5%(前年同期比-0.6pt)※1 ↓ 売上の減少により、主に中国の売上総利益が減少 ↑ 海外子会社の経費コントロールを継続	

(注)前期4Qより、ECサイト販売をはじめとするコンシューマービジネスの収益は、「その他」に区分変更。前期については、区分変更を反映した遡及処理後の数値を掲載。  
【エリア別売上構成比のイメージと前年同期比※2】

圧縮機(コンプレッサ)



真空機器



※1(製品別利益率のイメージ)  
真空機器>塗装機器>圧縮機>塗装設備  
※2(前年同期比)  
◎:10%~ ○:3%~10% △:0%~3% ▽:0%~-3%  
●:-3%~-10% ×:-10%~

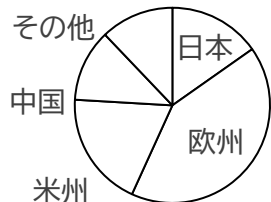
アメリカにおける塗装機器販売の低迷が継続し、売上全体と営業利益を押し下げ。同地域の販売体制を強化

	区分	2025年 3月期3Q	2026年 3月期3Q	前年同期比		概況(矢印は前年同期比)	(単位:百万円)
				増減額	増減率 (%)		
売上高	塗装機器	13,242	12,858	-383	-2.9	(日 本) ↓ 販売促進施策が十分に伴わず、一般塗装市場向けスプレーガンの売上減少 (欧 州) ↓ 自補修市場※1向けフラグシップモデルスプレーガンの普及一巡により売上減少 ↑ エアーブラシ販売の好調継続に加え、限定モデル販売などの短期施策実施に伴いスプレーガン販売に持ち直しの動き (米 州) ↓ 自補修市場向けスプレーガンの普及遅延やエアーブラシの販路見直しに伴い売上減少 (中 国) ↑ マーケティング活動の奏功により、工業塗装・自補修市場向けスプレーガンの売上増加 (その他) ↑ 東南アジアでのマーケティング活動強化などにより、タイを中心に売上増加	
	塗装設備	1,686	1,926	+240	+14.3	(日 本) ↑ 環境装置の売上は減少も、塗装設備全体として売上増加 (中 国) ↑ 上期の実績に加えて自動車製造向け塗装設備などの納入により売上増加 (日本・インド) ↑ 自動車製造に関連する案件の受注残高が増加	
	合計	14,928	14,785	-142	-1.0		
営業利益	コーティング	2,120	1,735	-384	-18.1	営業利益率:11.7%(前年同期比-2.5pt)※2 ↓ 利益率の高い塗装機器の売上減少により日本及びアメリカを中心に減益	

(注)前期4Qより、ECサイト販売をはじめとするコンシューマービジネスの収益は、「その他」に区分変更。前期については、区分変更を反映した遡及処理後の数値を掲載。

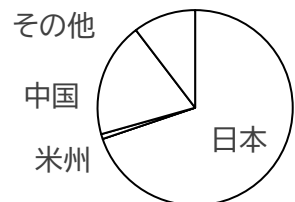
【エリア別売上構成比のイメージと前年同期比※3】

塗装機器



- 日 本 : ●
- 欧 州 : ▽
- 米 州 : ×
- 中 国 : ◎
- その他: ○

塗装設備



- 日 本 : ○
- 欧 州 : -
- 米 州 : ◎
- 中 国 : ◎
- その他: △

※1自補修市場=自動車補修市場  
※2(製品別利益率のイメージ)  
真空機器>塗装機器>圧縮機>塗装設備  
※3(前年同期比)  
◎:10%~ ○:3%~10% △:0%~3% ▽:0%~-3%  
●:-3%~-10% ×:-10%~



主要子会社※1の事業活動は堅調に推移。一方で、新規事業開拓に向けた先行投資の実施により営業損失を計上

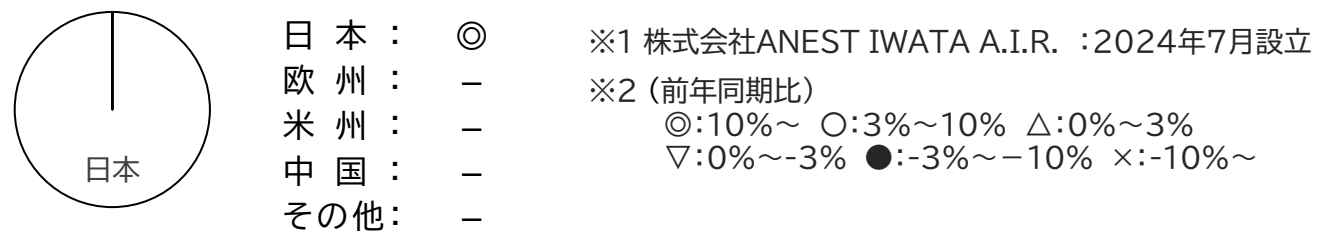
	2025年 3月期3Q	2026年 3月期3Q	前年同期比		概況(矢印は前年同期比) (単位:百万円)
			増減額	増減率(%)	
売上高	79	550	+471	+594.6	(日 本)↑ DIY向け機器の販売をその他事業に移管 ↑ SNS等を通じたエアーブラシの好意的な口コミ拡散と販促施策が相まって、EC サイト売上が増加 ↑ モビリティアフターサービス事業の日本店舗が10月に営業開始も、業績寄与は 限定的
営業利益	-4	-229	-225	—	営業利益率: -31.1%(前年同期比 —) ↓ 日本及びフィリピンにおけるモビリティアフターサービス事業の新規展開に向けた費用が 発生

(注) 1. 前4Qより、「エアエナジー事業」及び「コーティング事業」に含まれていたECサイト販売をはじめとするコンシューマービジネスの収益は、事業戦略上の重要性の観点から比較を容易にするため「その他」の区分を新設し、区分変更。前期については、区分変更を反映した遡及処理後の数値を掲載。

2. 1Qより、従来「エアエナジー事業」及び「コーティング事業」に区分していたDIY向け機器の収益については、製品の性質や販売体制等を総合的に勘案し、「その他」へ区分変更。

3. 「その他」事業には、コンシューマー向け製品の販売やモビリティアフターサービス事業を展開する日本の連結子会社に関する収益などを含む。

【エリア別売上構成比のイメージと前年同期比※2】





固定資産が増加。自己資本率は68.0%(前期末比+0.3pt)

		2025年3月期 通期期末	2026年3月期 3Q	対前期末差異		
		実績(百万円)	実績(百万円)	増減額(百万円)	増減率(%)	主な増減要因
資産	流動資産	45,229	44,786	-442	-1.0	・「現金及び預金」の減少 - 989百万円
	固定資産	23,973	24,970	+997	+4.2	・「建物及び構築物(純額)」の増加 + 452百万円 ・「投資有価証券」の増加 + 546百万円
	資産	69,202	69,757	+554	+0.8	
負債及び 資本	流動負債	12,161	12,394	+232	+1.9	・「支払手形及び買掛金」の増加 + 467百万円
	固定負債	3,479	3,395	-84	-2.4	・「リース債務」の減少 - 142百万円
	負債	15,641	15,789	+148	+0.9	
	株主資本	41,435	42,328	+892	+2.2	・「利益剰余金」の増加 + 842百万円
	その他の 包括利益累計額	5,417	5,133	-284	-5.3	・「為替換算調整勘定」の減少 - 427百万円
	非支配株主持分	6,707	6,506	-201	-3.0	
	純資産	53,561	53,967	+406	+0.8	
	負債・純資産	69,202	69,757	+554	+0.8	

国内外で事業基盤強化と生産能力拡充を目的とした設備投資は予定通りに進捗。研究開発費は年度末にかけて増加見込み

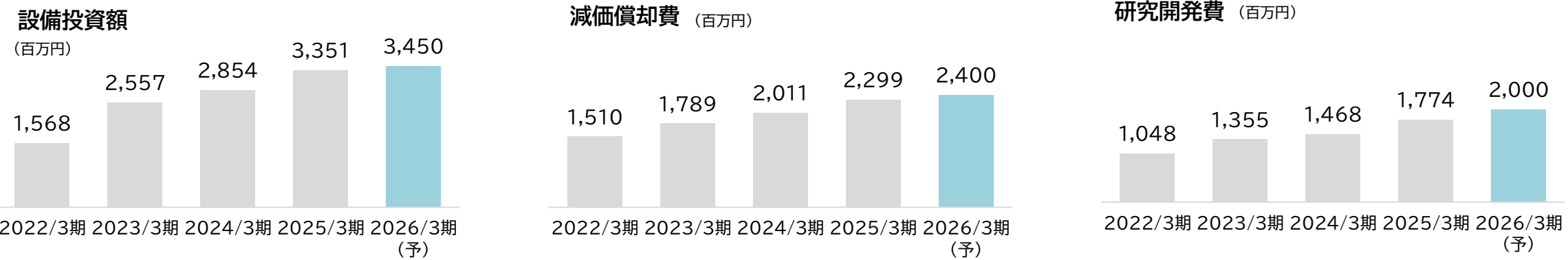
	2025年3月期	2026年3月期		
	3Q実績(百万円)	3Q実績(百万円)	通期計画(百万円)	進捗率(%)
設備投資	2,522	2,562	3,450	74.3
減価償却費	1,688	1,686	2,400	70.3
研究開発費※	1,328	1,284	2,000	64.2

※研究開発費：研究開発に係る一般管理と製造経費の合計値

主な  
設備投資

実績

- 日 本：・ 本社における土地の取得や試作棟に関する設備の納入  
・ モビリティアフターサービス事業の一環となる車体整備工場の新設
- 欧 州：塗装機器事業の販売基盤強化を目的とした建物の取得
- インド：中形圧縮機の組立工場が完成。今期4Qより本格稼働開始
- 各拠点：生産設備の更新・増強



アメリカ通商政策の影響額については今期は軽微と試算。現時点では、通期業績見通しは据え置き

		2025年3月期		2026年3月期			
		実績(百万円)	構成比(%)	目標値(百万円)	構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)
売上高		54,411	100.0	58,000	—	+3,588	+6.6
エアエナ ジー	圧縮機	30,787	56.6	—	—	—	—
	真空機器	2,822	5.2	—	—	—	—
	小計	33,609	61.8	35,800	61.7	+2,190	+6.5
コーティ ング	塗装機器	17,943	33.0	—	—	—	—
	塗装設備	2,736	5.0	—	—	—	—
	小計	20,679	38.0	22,100	38.1	+1,420	+6.9
その他	小計	123	0.0	100	0.2	-23	-18.8
営業利益		5,903	10.8	5,550	9.6	-353	-6.0
エア エナジー	営業利益	3,388	—	3,400	—	+11	+0.3
コーティング	営業利益	2,608	—	2,750	—	+141	+5.4
その他	営業利益	-94	—	-600	—	-505	—
経常利益		7,139	13.1	6,710	11.6	-429	-6.0
親会社帰属当期純利益		4,276	7.9	4,150	7.2	-126	-3.0
平均為替 レート	円／米ドル	151.58	—	151.50	—	-0.08	
	円／ユーロ	163.95	—	164.00	—	0.05	
	円／人民元	21.02	—	21.00	—	-0.02	

中長期的な成長投資の継続や当社事業の回復遅れに伴い収益悪化も、各エリアで販売促進策を実施して挽回を図る

下期の事業環境

- 国内外の人件費や物流コストに加え、原材料及び部材の調達価格の上昇を見込む(コスト等の上昇分は販売価格への転嫁を実施済み)
- 対円為替レートは2025年3月期と同水準を想定。ただし、不確実性が高いため、目標値に為替差損益は含めず
- アメリカの通商政策による影響については、追加関税適用前の在庫補充や現地価格改定の実施(3Q末)などにより、収支上の影響は軽微。一方で、値上げに伴う購買意欲の減退による業績への影響は一定程度見込む

売上高

- 日本では、2Qに実施した値上げ効果が浸透。一方で小形圧縮機の業界出荷台数は減速傾向で推移する見通し
- 欧米では、限定モデルスプレーガン等を主体とした短期販売促進策により、自動車補修市場向け販売が伸長する見込み
- アメリカでは、注力してきたスプレーガン販売体制強化の成果が徐々に顕在化
- 中国では、コーティング事業の堅調さは継続見込み。圧縮機の販売は回復基調に転じるも回復ペースは緩やかな見通し
- インドでは、中形圧縮機組立工場の本格稼働開始も今期業績への寄与は限定的。小形圧縮機の売上回復は遅れる見込み
- コーティング事業内の人員配置の見直しにより、塗装設備におけるサービス需要の獲得を強化。あわせて、小規模案件の早期受注による売上は伸長を見込む

営業利益

- 売上の回復遅れにより売上総利益が減少
- 日本を中心に人件費・支払手数料が増加
- 開発投資の強化など、さらなる成長に向けた投資を継続
- 経費コントロールを継続

経常利益  
/ 当期純利益

- 外貨建て債権などにおける為替差益の増加
- 政策保有株式縮減の検討を継続
- 2025年3月期に計上した事業資産の評価損の解消

## 成長戦略遂行に向けた組織体制の抜本的強化

2026年4月1日付け組織変更及び人事異動を開示

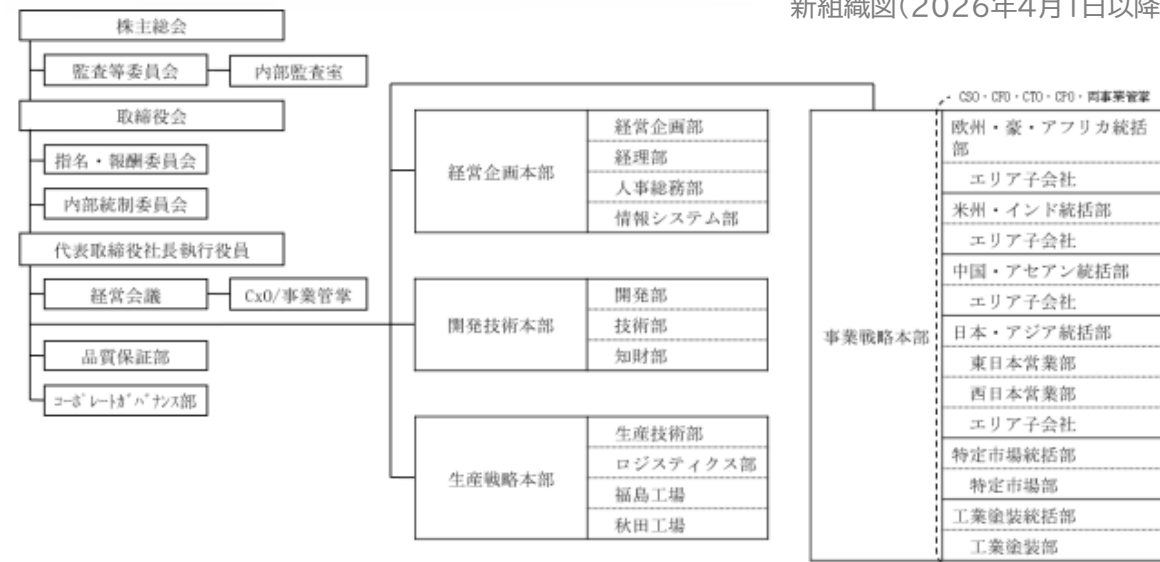
目的  
及び  
変更点

- CxO制の導入による機能横断的な専門経営体制の確立
- 各エリアへの権限移譲及びそれに伴う統括機能の拡張によるグローバルガバナンスの強化と市場対応力の向上
- 重複機能の統合と役割・責任範囲の明確化による組織効率の強化

開示文書は、  
[当社コーポレートサイト](#)を  
 ご確認ください



新組織図(2026年4月1日以降)



## IR活動の強化による認知度向上

当社グループは、産業機械メーカーとしてBtoB事業を中心に展開しており、市場での認知度向上が課題。ビジネス映像メディア「PIVOT」出演や個人投資家向け会社説明会への登壇などを通じて、当社事業への理解浸透と認知度向上を図る。  
 また、メディア露出の増加により、従業員エンゲージメントの向上といった副次的効果も期待。

説明会書き起こし記事は、  
[ログミーファイナンス公式サイト](#)  
 をご確認ください



動画は、  
[PIVOT公式チャンネル](#)  
 をご確認ください



&lt;番組詳細&gt;

YouTubeチャンネル:PIVOT 公式チャンネル

番組名:100年続く老舗企業 海外市場を制したM&amp;A戦略

公開日:2025年12月19日(金)



持分法投資利益は765百万円(前年同期比+50百万円)。アメリカで圧縮機を販売する持分法適用会社の業績が堅調に推移

	2025年3月期3Q		2026年3月期3Q		前年同期比		
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	構成比率変化 (pt)
売上高	39,988	—	39,488	—	-500	-1.3	—
売上原価	21,264	53.2	21,050	53.3	-213	-1.0	+0.1
売上総利益	18,724	46.8	18,437	46.7	-286	-1.5	-0.1
販売管理費	14,091	35.2	14,641	37.1	+550	+3.9	+1.9
営業利益	4,633	11.6	3,796	9.6	-837	-18.1	-2.0
営業外収益	1206	3.0	1,480	3.7	+274	+22.7	+0.7
営業外費用	120	0.3	85	0.2	-34	-28.6	-0.1
経常利益	5,718	14.3	5,190	13.1	-528	-9.2	-1.2
特別利益	5	0.0	7	0.0	+2	+50.5	+0.0
特別損失	28	0.1	42	0.1	+13	+48.1	+0.0
税金等調整前純利益	5,695	14.2	5,155	13.1	-539	-9.5	-1.1
法人税等	1325	3.3	1,136	2.9	-188	-14.3	-0.4
非支配株主帰属純利益	793	2.0	642	1.6	-151	-19.0	-0.4
親会社株主帰属純利益	3,576	8.9	3,376	8.6	-199	-5.6	-0.3

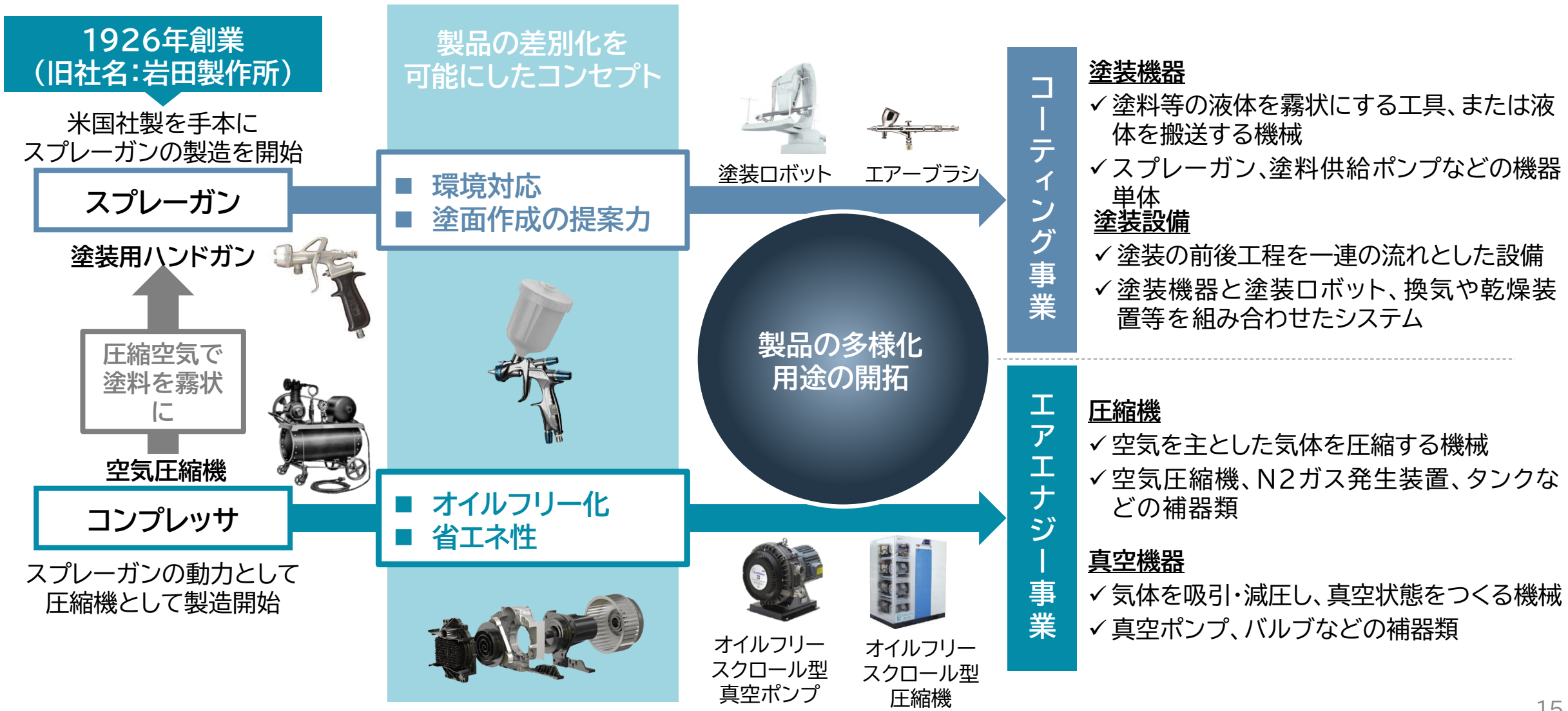


# <参考情報> 業積推移

【累計】 単位:百万円		2026年3月期			
		1Q	1~2Q	1~3Q	1~4Q
売上高		12,088	26,325	39,489	
前年同期比		-3.2%	-2.7%	-1.3%	
エアエナジー	圧縮機	6,618	14,577	22,314	
	前年同期比	-3.2%	-3.3%	-2.2%	
	真空機器	597	1,233	1,838	
	前年同期比	-20.2%	-18.2%	-15.3%	
	売上高	7,215	15,810	24,152	
	前年同期比	-4.9%	-4.7%	-3.3%	
コーティング	塗装機器	4,427	8,771	12,859	
	前年同期比	+1.8%	-4.4%	-2.9%	
	塗装設備	291	1,310	1,927	
	前年同期比	-44.4%	+5.2%	14.3%	
売上高	売上高	4,719	10,082	14,785	
	前年同期比	-3.2%	-3.2%	-1.0%	
その他	売上高	153	432	551	
	前年同期比	+451.0%	+674.5%	594.6%	
営業利益		929	2,511	3,796	
前年同期比		-8.7%	-15.2%	-18.1%	
エアエナジー	営業利益	478	1,409	2,289	
	前年同期比	-15.4%	-5.7%	-9.0%	
コーティング	営業利益	533	1,237	1,735	
	前年同期比	+21.6%	-14.4%	-18.1%	
その他	営業利益	-82	-134	-229	
	前年同期比	—	—	—	

【3か月ごと】 単位:百万円		2026年3月期			
		1Q	1~2Q	1~3Q	1~4Q
売上高		12,088	14,236	13,163	
前年同期比		-3.2%	-2.3%	+1.8%	
エアエナジー	圧縮機	6,618	7,958	7,737	
	前年同期比	-3.2%	-3.4%	+0.1%	
	真空機器	597	635	605	
	前年同期比	-20.2%	-16.4%	-8.7%	
	売上高	7,215	8,594	8,341	
	前年同期比	-4.9%	-4.5%	-0.6%	
コーティング	塗装機器	4,427	4,344	4,087	
	前年同期比	+1.8%	-9.9%	+0.4%	
	塗装設備	291	1,018	616	
	前年同期比	-44.4%	+41.4%	+39.9%	
売上高	売上高	4,719	5,363	4,703	
	前年同期比	-3.2%	-3.3%	+4.3%	
その他	売上高	153	278	118	
	前年同期比	+451.0%	+897.7%	+404.7%	
営業利益		929	1,582	1,284	
前年同期比		-8.7%	-18.6%	-23.2%	
エアエナジー	営業利益	478	930	880	
	前年同期比	-15.4%	+0.3%	-13.9%	
コーティング	営業利益	533	703	498	
	前年同期比	+21.6%	-30.0%	-26.2%	
その他	営業利益	-82	-52	-95	
	前年同期比	—	—	—	

塗装用スプレーガンとその動力となるコンプレッサの製造を出発点に、製品の多様化、用途の開拓を行いながら事業を拡大し続けております



## 将来見通しに関する記述、及びその他の注意事項

本資料で述べられております当社の将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。

世界経済、為替レートの変動、業界の市況、設備投資の動向など、当社業績に影響を与えるさまざまな外部要因がありますので、資料に記載の内容とは異なる可能性があることをご承知おきください。

また、資料は投資家の皆様への情報伝達を目的としており、当社の株式、その他の有価証券等の売買等を勧誘又は推奨するものではありません。

お問合せ先: アネスト岩田株式会社  
経営企画部 IR広報グループ  
TEL: 045-591-9344  
E-mail: [ir\\_koho@anest-iwata.co.jp](mailto:ir_koho@anest-iwata.co.jp)  
URL : <https://www.anestiwata-corp.com/jp>